

おすすめ資料案内

『生理学・生化学につながるていねいな生物学』
白戸亮吉ほか著. 2021. 羊土社. (電子ブック
[https://kinoden.kinokuniya.co.jp/tottori-u/
bookdetail/p/KP00045419](https://kinoden.kinokuniya.co.jp/tottori-u/bookdetail/p/KP00045419) 冊子体もあり)

大学で生理学や生化学などを学ぶ人のために、主に高校の生物の内容を中心に書かれています。細胞の仕組みにはじまり、消化や免疫、神経や感覚器官など、生物の基本的な機能を解説しています。

オールカラーで図も多用されており、見やすくわかりやすい本です。絶妙にゆるいイラストも和みます。

『それでも映画は「格差」を描く』町山智浩著.
2021. 集英社インターナショナル. (中央図書館
文庫・新書コーナー)

『パラサイト』『ノマドランド』から『万引き家族』『天気の子』まで、この数年の作品を中心に、世界各国で制作された映画を「格差」をキーワードに解説しています。観たことがある作品でも、自分では見逃していた発見があるかもしれません。



今月の新着図書から

書名/著者等	出版社	請求記号
総 記		
統計的機械学習の数理100問with R / 鈴木讓著	共立出版	007.13:Kik:(01)
ネット時代の図書館戦略 / ジョン・ポールフリー著; 雪野あき訳	原書房	016.253:Net
文 学		
魂の彷徨 / 上田京子著 (生田春月への旅 2)	編集工房遊	910.268:Iku:(2)
余命10年 / 小坂流加著	文芸社	文庫:BG:こ5-1
哲 学		
人格(ペルソナ)の哲学 / 稲垣良典 [著]	講談社	文庫:Koh:2708
RANGE (レンジ): 知識の「幅」が最強の武器になる / デイビッド・エプスタイン著; 東方雅 日経BP		159:Ran
歴 史 地 理		
秀吉は御冠山に来たか / 佐々木靖彦著	佐々木靖彦	217.204:Hid
使命: 吉田喜久代日本で最初の農村保健婦 / 佐々木美幸著	吉田喜久代研究会	289.1:Shi
社 会 科 学		
Leadership--magic, myth, or method? / J.W. McLean and William Weitzel	AMACOM, American Management Association	361.43:Lea
世界最高の教室: 成功する「準備」が整う / ダイアン・タヴァナー著; 稲垣みどり訳	飛鳥新社	372.53:Sek
自 然 科 学		
トートラ人体解剖生理学 / Gerard J. Tortora, Bryan Derrickson [著]; 佐伯由香 [ほか] 編訳; 石橋隆治 [ほか] 訳	丸善出版	491.1:Tot
Functional foods and biotechnology / edited by Kalidas Shetty ... [et al.]	CRC Press, Taylor & Francis Group	498.53:Fun
技 術		
Nanophysics sourcebook / edited by Klaus D. Sattler	CRC Press	501.2:Nan
海岸工学: よくわかる海岸と港湾 / 柴山知也編著; 高木泰士 [ほか] 共著	森北出版	517.8:Kai
産 業		
イチからはじめる犬と猫のX線検査 / 堀あい著	緑書房	649.5:Ich
MaaSが都市を変える: 移動×都市DXの最前線 / 牧村和彦著	学芸出版社	681.8:Maa
芸 術		
リーチ好き / 山本教行著	今井印刷	751.3:Lea
「地域市民演劇」の現在: 芸術と社会の新しい結びつき / 日比野啓編	森話社	775.6:Chi
言 語		
福祉編: みんなで助け合う社会とは (時事から学ぶ小論文 第7号)	朝日新聞社	816.5:Jij:(7)
科学技術編: 進化するテクノロジーと人間 (時事から学ぶ小論文 第8号)	朝日新聞社	816.5:Jij:(8)

鳥取大学附属図書館 中央図書館 <https://www.lib.tottori-u.ac.jp/>



【お問い合わせ先】 広報ワーキンググループ
〒680-8554 鳥取県鳥取市湖山町南4丁目101
TEL: 0857 (31) 5672 (内線7050) FAX: 0857-28-6346
E-Mail: ac-shiryousa@ml.adm.tottori-u.ac.jp

(編集後記) 仏伊合作の映画『シチリアを征服したクマ王国の物語』の予習にと、ディーノ・ブッツァーティの『待っていたのは: 短編集』を読む。一編目からさっとダメージを与えてくる。読者まで巻き添えにひどい目に合うとはまさに不条理だ。「鼠」や表題作などはもうホラーである。映画の方は風刺が効いた内容ではあるが、カラフルな絵柄も相まって楽しい。くまはくま。(か)